

# こども未来部長目標

● こども未来部長 町田 真治(まちだ しんじ)



● 当部の仕事を通して貢献しているSDGsの主なゴール



● こども未来部の仕事

こども未来部は、こども政策課、こども支援課、こども福祉課、青少年課、保育幼稚園課の5課で構成され、子育て家庭への経済的支援、子どもに関する相談、放課後児童対策、保育園・幼稚園等に関すること、就学前の障害児が通う施設及びこども支援センターの運営などを行っています。

● こども未来部の令和3年度の目標

こども未来部は、子どもの最善の利益を実現するために、大きく変わりつつある子育て環境への対応を踏まえ、「第2期子ども子育て支援事業計画」に基づき、親子の絆を深める切れ目のない子育て支援、特に寄り添いや支え合いが必要な子育て家庭の支援、放課後児童対策などをすすめてまいります。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	親子の絆を深める切れ目のない子育て支援に関する事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康推進部及び教育総務部との連携により、本とふれあうことで親子の絆を深め、孤立しがちな親子へ支援を行うため、「ところっこ親子ふれあい絵本事業」を実施します。</li> <li>・家庭や地域における子育ての不安や悩みに対応するため、こども支援センターなどにおいて、「地域子育て支援拠点事業」「ところっこ子育てサポート事業」を実施します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約2,300組の親子に対し、健診時に読み聞かせと絵本の引き換えチケットの配布を行い、図書館や子育て支援施設で絵本と交換していただくことで利用につなげていきます。</li> <li>・関係機関との調整などを行いながら、保護者が地域で身近に相談できる場の提供や妊娠期から子育て期まで切れ目のない寄り添った支援をします。(ところっこ子育てサポート事業相談件数(基本型・特定型)の目標値900件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1歳6か月児健診時に参加を希望した親子(743組)に読み聞かせを行いました。また、絵本の引き換えチケットを配布し、図書館や子育て支援施設での絵本の交換(582冊)により、施設の利用につなげました。</li> <li>・子育てについて身近に相談できる場を提供し、保健センター・地域子育て支援センターなどの関係機関と連携して、子育てに関する情報の集約を行いながら、相談者の悩みに寄り添った支援を実施しました。相談件数(基本型・特定型):1,071件</li> </ul>

2	<p>特に寄り添いや支え合いが必要な子育て家庭の支援に関する事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもに関するさまざまな相談をお受けし、適切に対応いたします。相談内容によっては、関係機関と連携して効果的な支援を行います。また、令和4年度の子ども家庭総合支援拠点の設置に向けて準備を進めます。</li> <li>・こども支援センター発達支援事業において、相談支援、子どもの特性に応じた通所支援、研修・啓発などの地域支援を行います。</li> <li>・低所得世帯及び多子世帯に対し、幼稚園等に就園するための費用の一部を補助することにより、幼児教育の振興を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳から18歳未満の児童、保護者及び関係者等から寄せられる、多岐にわたる相談に対応します。(目標値900件)</li> <li>・こども支援センター発達支援事業の利用者満足度(アンケートで「満足している」と回答する人の割合)について、100%を目指します。</li> <li>・私立幼稚園及び幼稚園類似施設に在園する児童の保護者に対し、所得及び各世帯の兄弟区分に応じて補助金を交付します。(目標値370件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0歳から18歳未満の児童、保護者及び関係者等からのさまざまな相談に対応しました。(相談件数889件)</li> <li>また、令和4年4月1日子ども家庭総合支援拠点設置のため要綱等の整備を行いました。</li> <li>・こども支援センター発達支援事業の利用者満足度(アンケートで「満足している」と回答する人の割合)は94.8%でした。</li> <li>・私立幼稚園及び幼稚園類似施設に在園する児童の保護者に対し、前期(R3.4~8)227人、後期(R3.9~R4.3)245人の保護者に対し、補助金を交付しました。</li> </ul>
3	<p>放課後児童対策に関する事業</p>	<p>放課後児童クラブの狭隘化や大規模化への対策として、学校施設の活用を進め、定員拡大を行います。</p>	<p>小学校の転用可能教室等を放課後に借用することについて、教育委員会と連携を図り、3児童クラブ(泉・若松・牛沼)で合計120人分の施設整備を行います。</p>	<p>計画していた泉・若松・牛沼児童クラブに加えて、宮前・安松児童クラブについても施設整備を行いました。また、北野児童クラブについて小学校施設に移転することで定員増を図りました。(定員増の合計228人分)</p>